

ふりがな 氏名	かつだ たくま 勝田 拓真	職名	講師
取得学位	修士(教育学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	教育相談、生徒指導論、進路指導論、教職入門、教職実践演習、社会科教育法		
所属学会	日本教育工学会、日本教育カウンセリング学会、日本教育カウンセラー協会 日本ポジティブ教育協会、日本学級経営心理学会、オセアニア教育学会、日本社会科教育学会		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
・副読本『瀬戸』編集委員会の委員長を務める	平成30年 4月～平成 31年3月	愛知県瀬戸市内中学校生徒と市民を対象とした瀬戸市の歴史・文化・産業に関する資料集の編集委員会の委員長として助言・指導を行った。
・瀬戸市小中一貫校開校準備委員会の委員を務める	平成30年 9月～令和 元年7月	小中一貫校「にじの丘学園」の開校に向けて、教育方針、教育目標、教育内容、カリキュラムについての検討と策定を行った。
・瀬戸市現職教育委員会の副委員長を務める	平成31年 4月～令和 2年3月	愛知県瀬戸市内小中学校における教育の向上を目指して教職員研修会、各種委員会、発表会などを主催し、委員長である教育長を補佐した。
・愛知県教育委員会職場内家庭教育推進委員を務める (愛知県教育委員会生涯学習課)	令和2年 4月～令和 3年3月	愛知県内の企業・事業所に対して家庭教育を支援する職場づくりを働きかけるとともに家庭教育を支援する職場環境づくりに賛同する企業の拡充を図った。令和2年4月～令和3年3月まで賛同を得た企業は102社である。また、令和2年9月12日、日本郵便株式会社「東三河地区郵便局長会」における研修会「人間関係づくりのヒント」の準備と運営を行った(豊橋市民センター)。
・講義用教材・Web資料作成(名城大学教職課程)	令和2年 4月～令和 3年8月	「教育相談」の講義内容をWeb上で提示、解説し、受講後の意見・感想、質問・回答を双方向から交わすことができるようにした。また「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」の講義内容資料を毎回の授業で配付するとともに、授業内容の全てをWeb上でも確認できるようにし、自宅での学習を可能とした。
・教員採用試験・自治体採用試験対策面接指導 (名古屋女子大学)	令和3年 4月～令和 5年3月	教員採用試験・自治体採用試験における面接試験対策として、個人・集団面接、エントリーシート作成の指導を行った。
・出前授業の講師を務める(光が丘女子高等学校)	令和3年 10月22日	自己の強みを生かすことができるクラス内での実践方法に関する講習と大学での教育活動についての紹介を2クラスに行った。
・教職員向けカウンセリング研修会の講師を務める (名古屋女子大学)	令和3年 10月29日	レジリエンス育成に関する講習と実践紹介を行った。参加者59名(教員44名、職員15名)。
・オープンキャンパスでの体験授業講師を務める (名古屋女子大学)	令和4年 8月14日	自分のことを知り、自分の良さを生かすことができるための模擬授業を午前と午後の部で行った。
・出前授業の講師を務める(聖霊高等学校)	令和4年 10月14日	自分のことを知り、自分の良さを生かすことができるための授業を2クラスで行った。
・職業別ガイダンスの講師を務める (瀬戸北総合高等学校)	令和4年 11月28日	保育・教育職の具体的な内容と魅力についての職業指導授業を2クラスで行った。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び	共	令和3年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 第1部教育・保育の基礎理解 第5章「レジリエンスを育む学校教育」(pp.33-40)執筆
	速解チャート付き教師とSCのための カウンセリング・テクニック4 保護 者とのよい関係を積極的につくる カウンセリング	共	令和4年 1月	ぎょうせい	編集代表:諸富祥彦 第6章「困った保護者への対応」 第2節「外国人の保護者と」 (pp.124-125)執筆
	シリーズ教育・保育の論点 学びの 進化	共	令和4年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 第2部小学校・中学校における 教科の指導法 第2章「子どもた ちのレジリエンスを育む社会科 教育」(pp.33-40)執筆
	イラスト図解でわかる 中学校教師 の仕事術超入門	共	令和4年 9月	明治図書	編著:曾山和彦 第2章関係づくり「保護者との関 係づくり」(pp.118-123)、生活指 導・生徒指導「給食・清掃指導」 「服装・身だしなみ指導」(pp.142 -149)、校務分掌「校内の校務」 「対外的な校務」(pp.166-173) 執筆
保育者・教育者をめざす学生のため の自習ガイドブック第4版	共	令和5年 4月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 第2部 第2章 「社会」(pp.35-64)共同執筆	
論 文	学校統合により生ずる小規模校生徒 のストレスを軽減するための学校 教育の在り方	共	平成30年 12月	日本教育工学会研究会 (早稲田大学)研究報告 集	pp.255-262 勝田拓真、藤村裕一
	学校統合により生ずる小規模校生徒 のストレスを軽減するためのレジ リエンスを高める学校教育の在り方	共	令和元年 7月	日本教育工学会研究会 (愛媛大学)研究報告集	pp.95-100 勝田拓真、藤村裕一
	学校統合前の生徒のレジリエンス を高める学校教育の在り方 —特別活動と総合的な学習の時間 を中心に—	単	令和3年 2月	名城大学教職センター 紀要第18巻	pp.13-24
	レジリエンスを育む学校教育—地 域とのつながりを生かして—	単	令和3年 11月	日本教育カウンセリング 学会第18回研究発表大 会(秋田)発表論文集	pp.58-59

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	オーストラリアの教育制度とレジリエンス教育について—メルボルン市内の Secondary College との交流から—	単	令和3年 12月	児童教育論集第5号	pp.1-10
	社会科が好きになる授業づくり—小学校第3学年の「身近な地域」の学習から—	単	令和4年 12月	児童教育論集第6号	pp.46-52
学会発表	学校統合により生ずる小規模校生徒のストレスを軽減するための学校教育の在り方	単	平成30年 12月8日	日本教育工学会研究会 (早稲田大学)	
	学校統合により生ずる小規模校生徒のストレスを軽減するためのレジリエンスを高める学校教育の在り方	単	令和元年 7月28日	日本教育工学会研究会 (愛媛大学)	
	レジリエンスを育む学校教育—地域とのつながりを生かして—	単	令和3年 11月20日	日本教育カウンセリング 学会第18回研究発表大会(Web本部秋田市教育 研究所)	